

2015.8.22

全国スクールリーダー育成研修 E. FORUM

グローバル化する教育と 留学概念の転換

京都大学大学院教育学研究科

杉本 均



杉本均

- 比較教育学
- 東南アジア（マレーシア・シンガポール）
- ブータン王国
- 国境を越える教育
- 留学 マレーシア 英国



留学とは？



留学とは？

- 広辞苑 よその土地、特に外国へ行って比較的長期間にわたって学問や芸術・技術などを学ぶこと

国境を越えて教育を受けること



留学とは？

①どの教育機関で学ぶのか？

②どの程度の期間学ぶのか？



いろいろな留学:

(1) 高等教育留学

(2) 高校生留学

(3) 義務教育留学

(4) 語学留学



さらに・・・

山村留学

駅前留学

お茶の間留学

などなど



留学の定義(行政)

(A) 日本人が海外に留学する場合

(1) 3カ月未満の海外での教育を
「研修」と呼ぶ

(2) 3カ月以上にわたる教育のため
の渡航を「留学」と呼ぶ



(B) 来日外国人に対して「出入国管理及び難民認定法」「別表第一」に定める

(1) 日本の大学・大学院・高等専門学校(専門課程)において1年以上の教育を受けるために来日する場合を「留学」とする。

(2) 日本滞在が1年以上の予定であっても、日本語学校で日本語を習得するために来日する場合を「就学」とする。



各国・機関における留学の定義

「留学(生)」って英語でどう訳す？



ユネスコ(UNESCO)の留学生の定義

foreign students/ etudiant etranger

「自分が恒久的な住人ではない国または地域において、高等教育機関に入学した者」

流動人口にとって自国とは？



ユネスコ(UNESCO)の留学生の定義

foreign students/ etudiant etranger

「自分が恒久的な住人ではない国または地域において、高等教育機関に入学した者」

流動人口にとって自国とは？

生れA国→育ちB国→教育C国→永住D国



英国(British Council)の定義

overseas students
(international students)

「海外に恒久的住居を有し、
英国の中等後教育機関(post-secondary)にお
いて、正規課程に入学し、終了後本国に帰国
する前提の者」



米国(International Institute of Education) の定義

foreign students

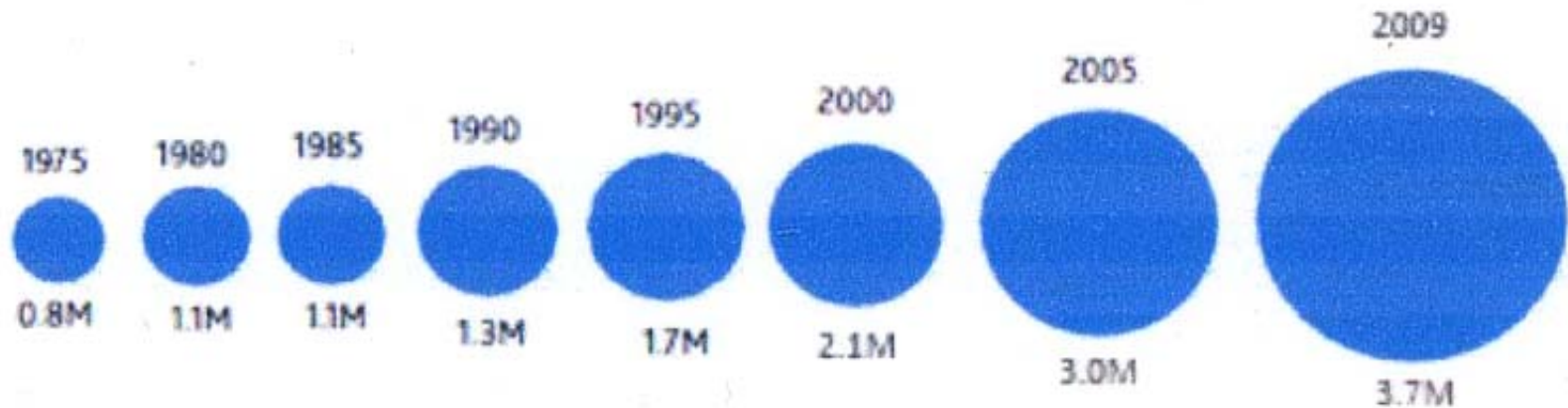
「米国の市民でも移民でもない者で、
米国における高等教育課程に登録している
者すべて。ただし難民は含まれる。」



国際教育流動の規模

世界の留学生総数・・・370万人

A. International Students Worldwide, Selected Years



Source: OECD *Education at a Glance*, 2011

留学生受け入れ上位7カ国

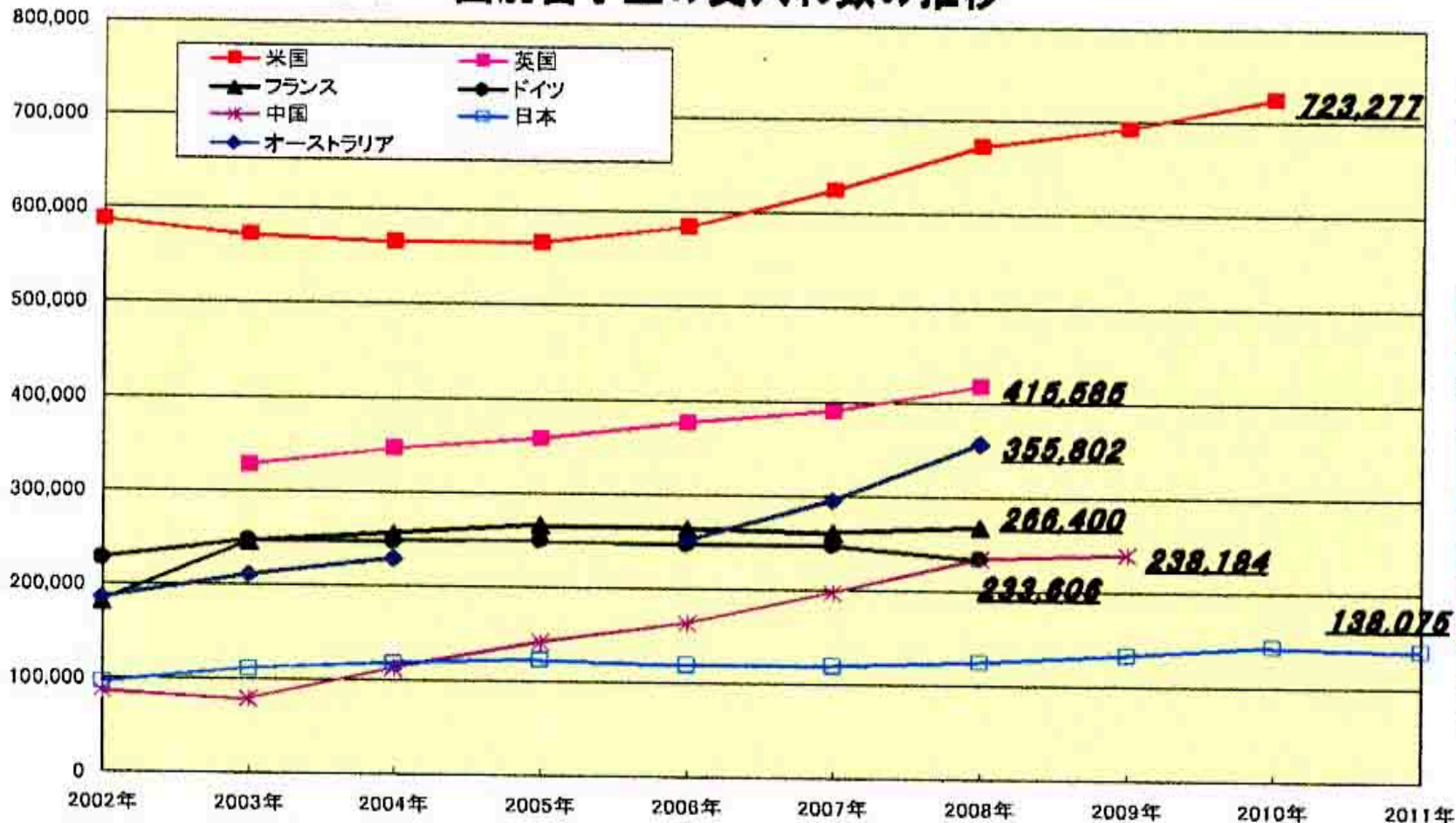
外国人留学生受け入れ統計 2010年（1000人以上受け入れ国中）と出身地域

	留学生数	高等%	アフリカ	北米西欧	南米	アジア	中東欧	その他
1 アメリカ	684,714	3.4	4.6	11.8	9.6	65.4	3.8	4.8
2 英国	389,958	15.3	8.1	32.1	—	49.7	8.3	1.8
3 豪州	271,231	21.4	2.5	6.4	—	81.4	0.7	9.0
4 フランス	259,935	11.5*	18.5	15.4	5.5	30.3	8.3	22.0
5 ドイツ	200,862	5.3*	4.3	20.9	4.4	30.2	31.2	8.9
6 日本	141,599	3.7	0.4*	3.7*	1.1*	93.8*	0.9*	0.0*
7 ロシア	129,690	1.4	3.5	1.0	0.7	64.0	30.7	0.1
世界(上位 50)	3,572,840	2.0	7.2	15.2	5.5	48.2	10.8	13.1

出典:ユネスコ・グローバル教育要覧 2012 (UNESCO Global Education Digest 2012) table 9:

世界の留学生受け入れ上位国の変遷

国別留学生の受入れ数の推移



出典: 米国はIE「OPEN DOORS」、日本は日本学生支援機構「留学生数調査」、その他の国は各国統計データ

10. 留学生受入比率

留学生受け入れ数

×100 = 高等教育留学生比率

高等教育人口(学生数)

13.6万人(2011)

×100 = 4.6%

293.8万人(2012)



主要国の高等教育留学生受入比率

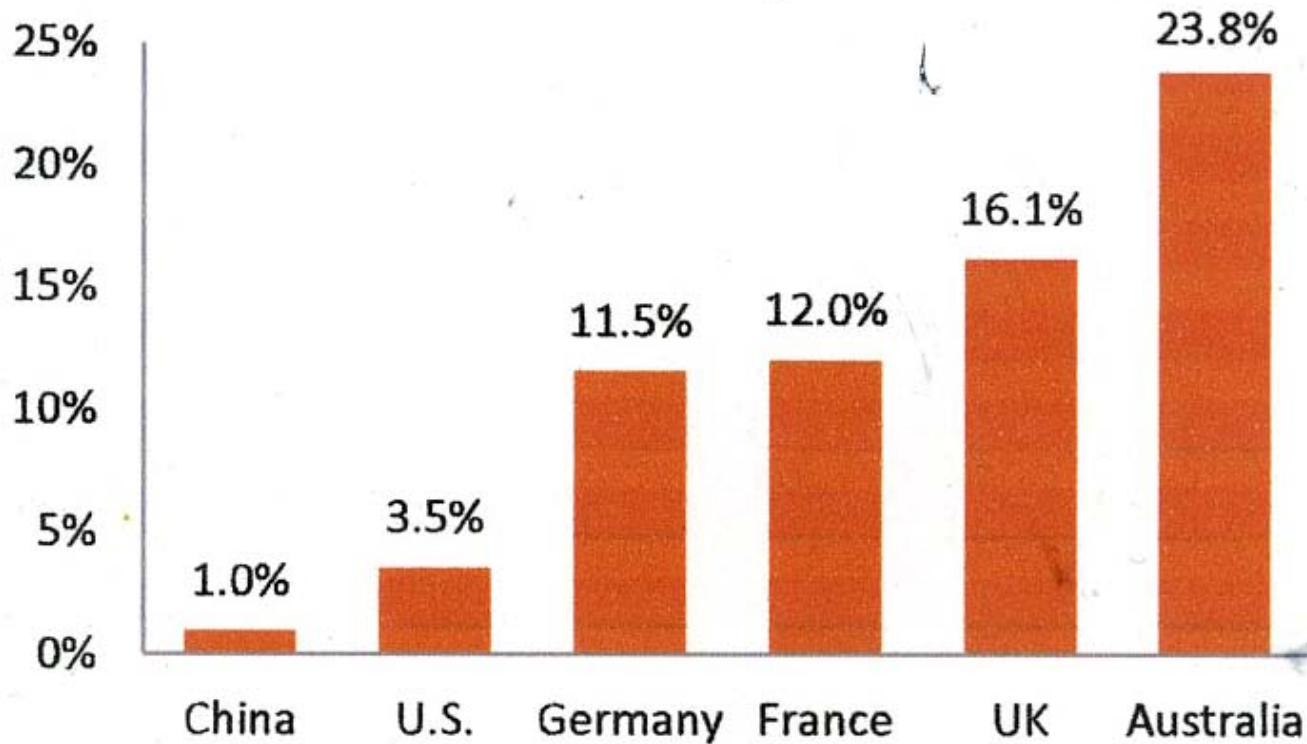
主要国の高等教育留学生比率

	アメリカ	英国	ドイツ	フランス	オーストラリア	日本
1987年	3.1%	11.8%	5.6%	11.1%	—	0.6%
2006年	3.4%	13.4%	8.6%*	11.0%	16.6%	2.7%
2010年	3.4%	15.3%	5.3%**	11.5%**	21.4%	3.7%**

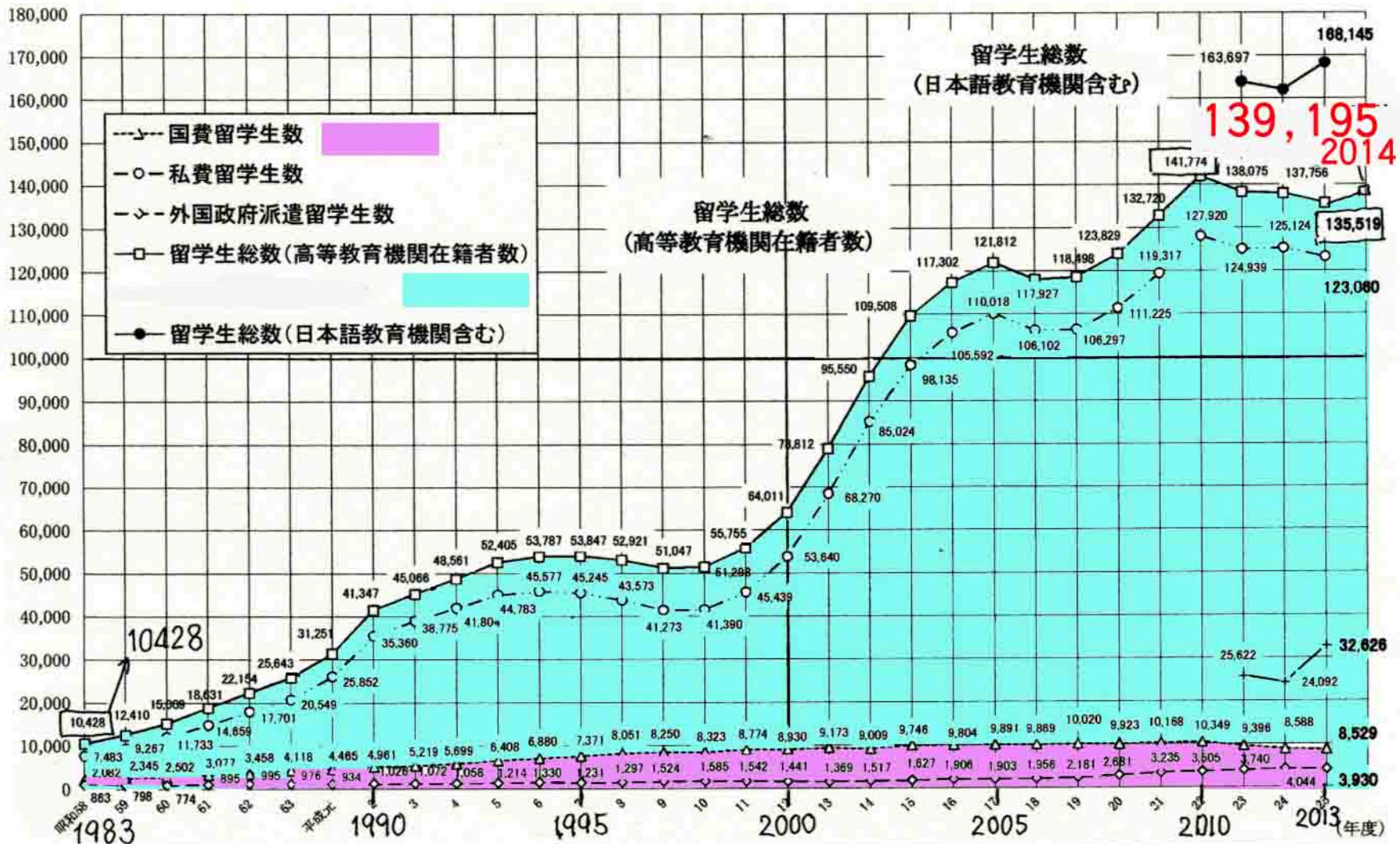
*2000年 **2009年 出典：表4-1に同じ。

高等教育留学生比率

C. International Enrollment as a Percentage of Total Higher Education Enrollment for Top Countries 2009/10



日本の留学生受け入れ数の推移



留学生送り出し国 送り出し比率

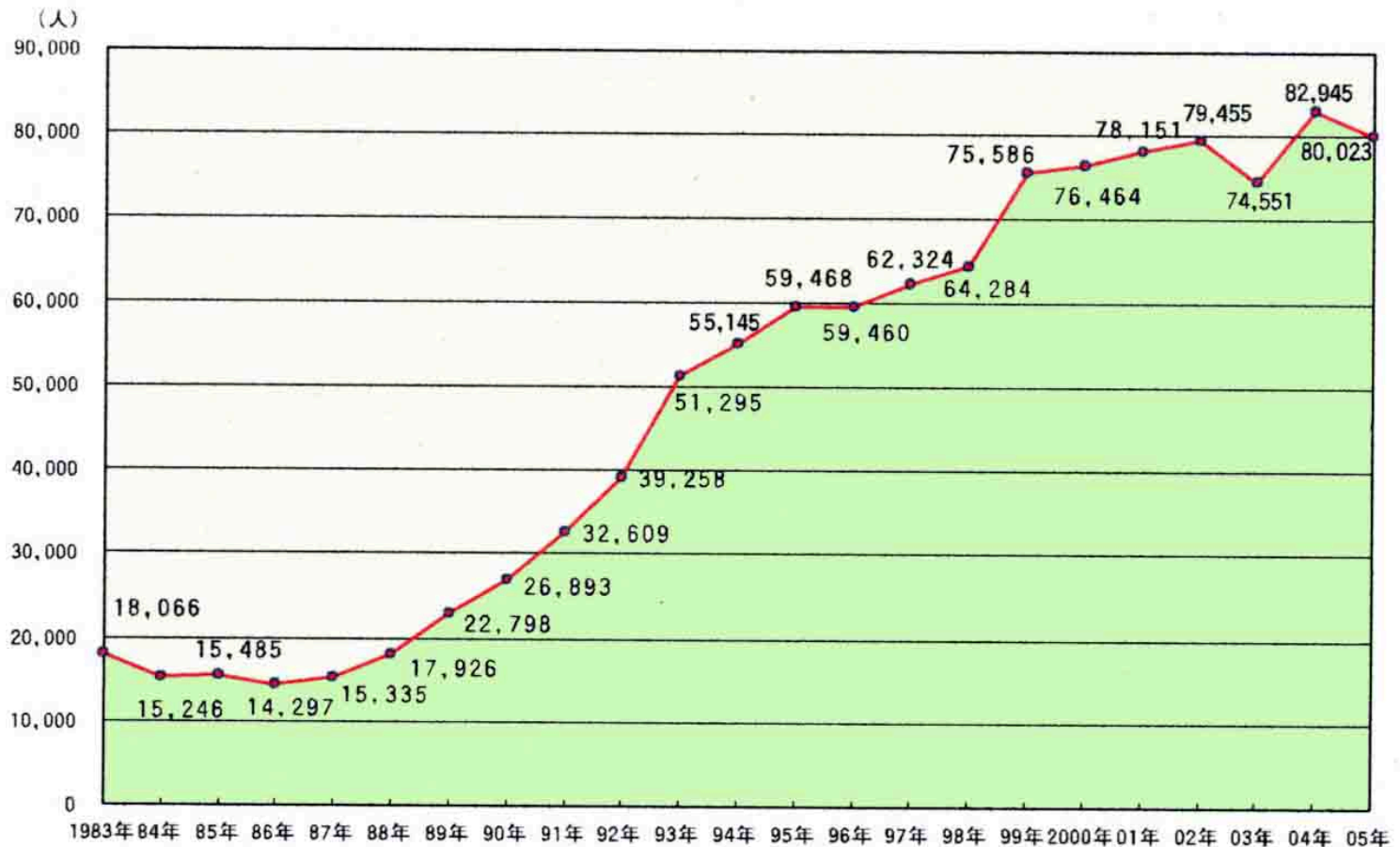
表 留学生送り出し国 送出比率(Outbound mobility ratio) 2012年

	送出数*	比率	主な留学先
1 中国	562,889	1.8	アメリカ、豪州、日本、英国、韓国
2 インド	200,621	1.0	アメリカ、英国、豪州、NZ、カナダ
3 韓国	126,447	3.9	アメリカ、日本、豪州、英国、カナダ
4 フランス	54,407	2.4	英国、アメリカ、スイス、カナダ、ドイツ
5 マレーシア	53,884	5.5	豪州、英国、アメリカ、ロシア、インドネシア
6 アメリカ	51,565	0.3	英国、カナダ、ドイツ、フランス、豪州
7 ロシア	49,585	0.5	ドイツ、アメリカ、ウクライナ、フランス、オーストラリア
8 トルコ	49,116	1.6	アメリカ、ドイツ、ブルガリア、アゼルバイジャン、英国
9 ベトナム	47,974	2.4	アメリカ、豪州、フランス、日本、ロシア
10 カナダ	45,090	—	—
13 日本	40,447	1.1	アメリカ、英国、オーストラリア、カナダ、ドイツ

出典:表 4-1、4-2に同じ。「送出数」=当該国の留学生を受け入れている国上位 50 カ国の合計;

日本人の海外留学生数

日本人学生の海外留学生数の推移



(出典: OECD「Education at a Glance」、IIE(米国)「OPEN DOORS」等)

- 内向き志向の日本人学生？

留学に制約の多い日本……就活
日本国内が居心地がいい？
留学費用の問題



留学しない留学？



留学しない留学？

「留学」に含まれる2つの意味

留学する＝海外に渡航し履修する

留学する＝海外の学位などを取得する



トランスナショナル・エデュケーション

学習者が学位を授与する機関の所在する国
以外の地で課程を履修する教育

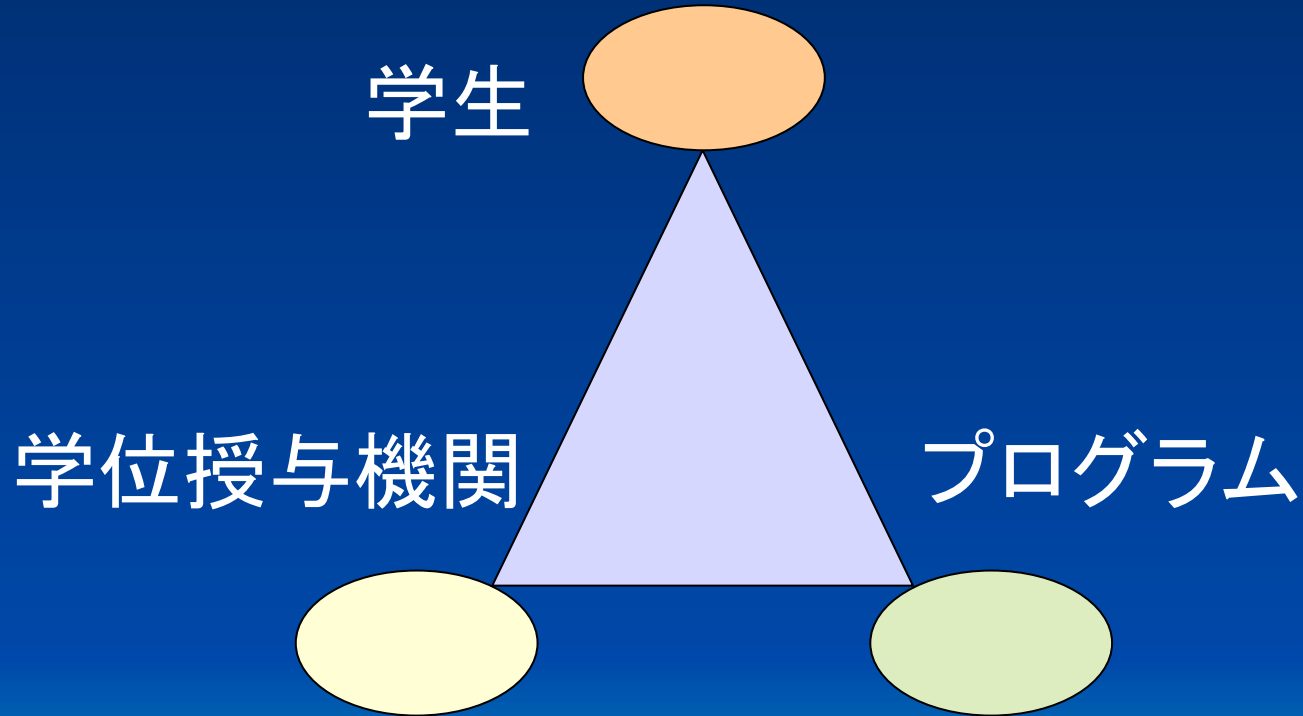
Transnational education

Cross-border Education

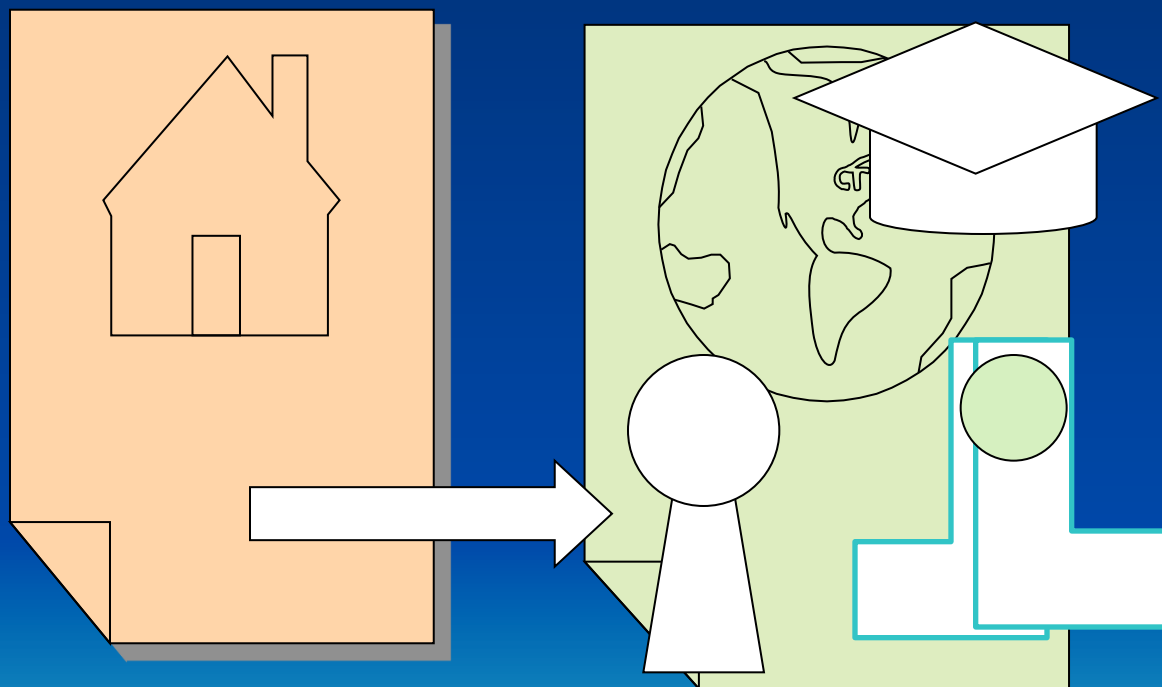
Offshore Education



- 留学にかかわる3つのアクター

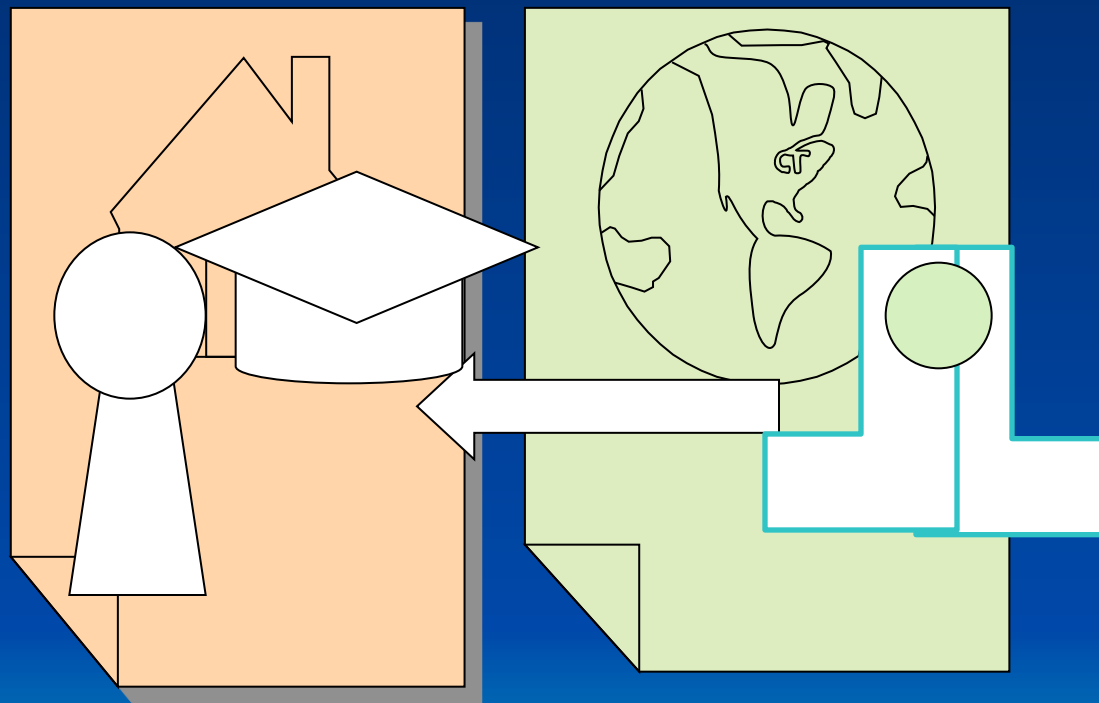


- 傳統的留學



トランスナショナル教育

提携機関
分校
通信



学生

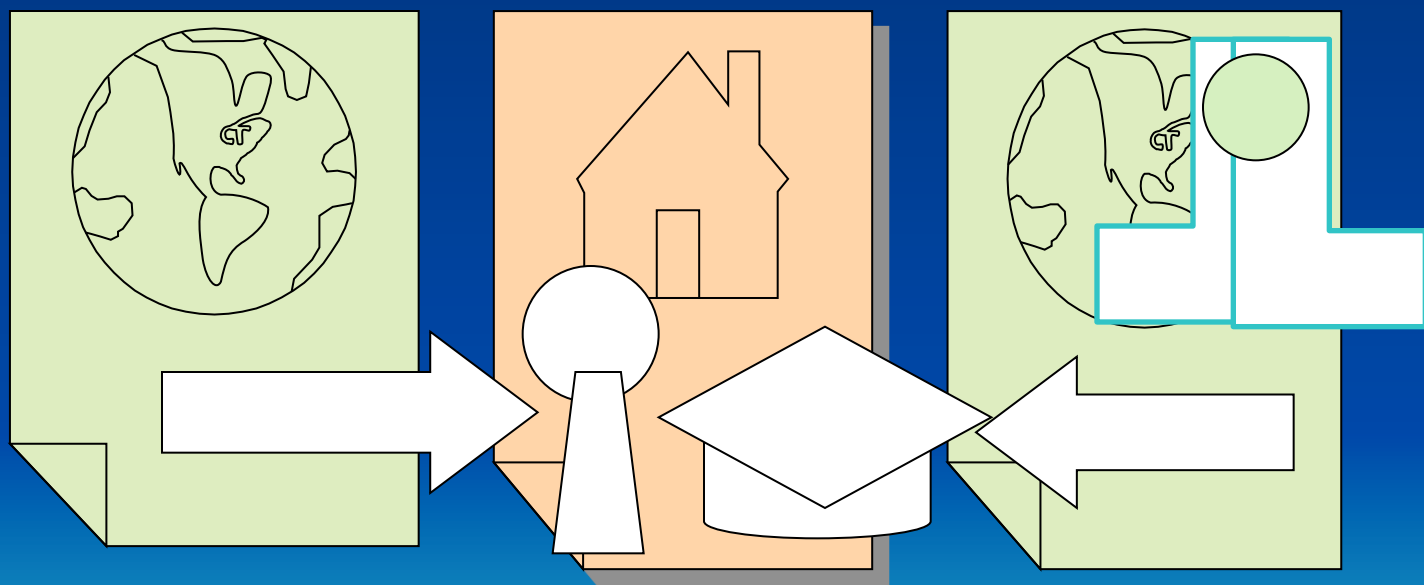
学位授与機関

より複雑な形のトランスナショナル教育

出身国

ホスト国

学位授与機関



提携学位の起源

イギリスの植民地向け

外部学位 (External Degree)

1998年 マレーシアの国立大学法人化

公立大学の営利事業を認める



マレーシア大学の営利事業展開

アジア経済危機

フランチャイズ・プログラム

マレーシア公立大学のコースを
私立カレッジにフランチャイズ提供

修了者に大学の学位・資格を授与



マラヤ大学



マレーシア理科大学(ペナン)



KDUカレッジ ペナン



部分留学の誕生

トウイニング・プログラム

プログラム課程の一部のみ外国大学で
履修する



3+0プログラムの誕生

- ・ 留学経費削減のため

「1+2」あるいは「2+1」



すべてをマレーシアのカレッジで履修可能

「3+0」のプログラムを提携

オーストラリア 10大学

イギリス 9大学

オーストラリア モナシュ大学



モナシュ大学 マレーシア分校



輸出品目としての高等教育

- ・ 2008年 教育サービス輸出額
155億豪ドル

オーストラリアの輸出品目

1位 石炭

2位 鉄鋼石

3位 教育サービス



オーストラリア シドニー大学(1850)



メルボルン大学(1853)



RMIT Melbourne



RMIT Ho Chi Minh City



RMIT Ho Chi Minh City



ラオス蘇州大学 分校



(1) 学生の移動……(伝統的)留学

(2) 機関の移動……外国大学分校

(3) プログラムの移動……

外国機関提携学位

国際通信学位 (e-ラーニング)



外国大学の分校

- 世界の外国大学分校

113校(2006年)→162校(2009年)

アメリカ 78校

オーストラリア 14校

英国 13校

フランス 11校

インド 11校



日本の外国大学分校

テンプル大学日本校(東京)

1982年進出 学生1700人

日本人70% アメリカ人15%

1990年代には日本に40校も進出

→今日までにほとんどの分校が撤退



新宿(旧)キャンパスと三田キャンパス



画像引用元:

<https://www.tuj.ac.jp/about/japan-campus/history.html>

<https://www.tuj.ac.jp/jp/maps/>

アメリカ大学の外国分校

	学部生 合計	学部生数 平均	大学院生 数	大学院生 数平均	在籍者数 合計	学士号	修士号	博士号
アジア (N=14)	1,545	221	430	43	1,975	8	11	1
ヨーロッパ (N=14)	3,544	322	1,365	105	4,909	31	31	2
中東・北アフリカ (N= 6)	1,068	214	47	24	1,115	15	1	0
北アメリカ (N= 2)	45	45	270	270	315	2	2	0
合計 (N=36)	6,202		2,112		8,314	56	45	3

出典：U.S. Branch Campuses Abroad, ACE, September 2009.

イギリス高等教育タイプとTNE

タイプ	現在のプログラム		計画中のプログラム	
	数	%	数	%
1992年以後の新大学	971	63.2	133	59.9
1992年以前の伝統的大学	481	31.3	75	33.5
高等教育機関内の研究所など	84	5.5	14	6.3
合計	1536	100.0	222	100.0

外国大学の進出地

アラブ首長国連邦	40校
中国	15校
シンガポール	12校
カタール	9校

(2009 OBHE)



Georgetown University in Qatar



カタールの外国大学シティー



アラブ首長国連邦の知識村



アラブ首長国連邦



アラブ首長国連邦



なぜ中東諸国に展開しているのか？



日本は？



マレーシア日本国際工科院

Malaysia-Japan International Institute of Technology



Programmes Offered:

- Bachelor of Electronic Systems Engineering
- Bachelor of Mechanical Precision Engineering
- Bachelor of Chemical Process Engineering

日本の教育システムを総合的に取り入れる



マレーシア日本国際工科院(MJIT)は、マレーシアに新たな日本型工学教育を確立することを目的に、マレーシア政府および日本政府の共同事業として、UTMクアラルンプールキャンパス内に設立されました。

MJITの学生は、UTMの既存の研究施設や経験豊富な教員の支援を含むUTMのすべての教育研究環境を利用することができます。

MJITは、日本の技術が特に優れている分野に対して、日本型教育の特長を取り入れた体制により、学部、大学院のプログラム及び研究開発の場を提供しています。また、MJIT教員は行き届いた研究指導と併せて技術者倫理教育を行うとともに、日本の大学及び企業と協力して両国の長所を融合した新しい文化と教育研究方法の創造に取り組んでいます。



画像引用元:

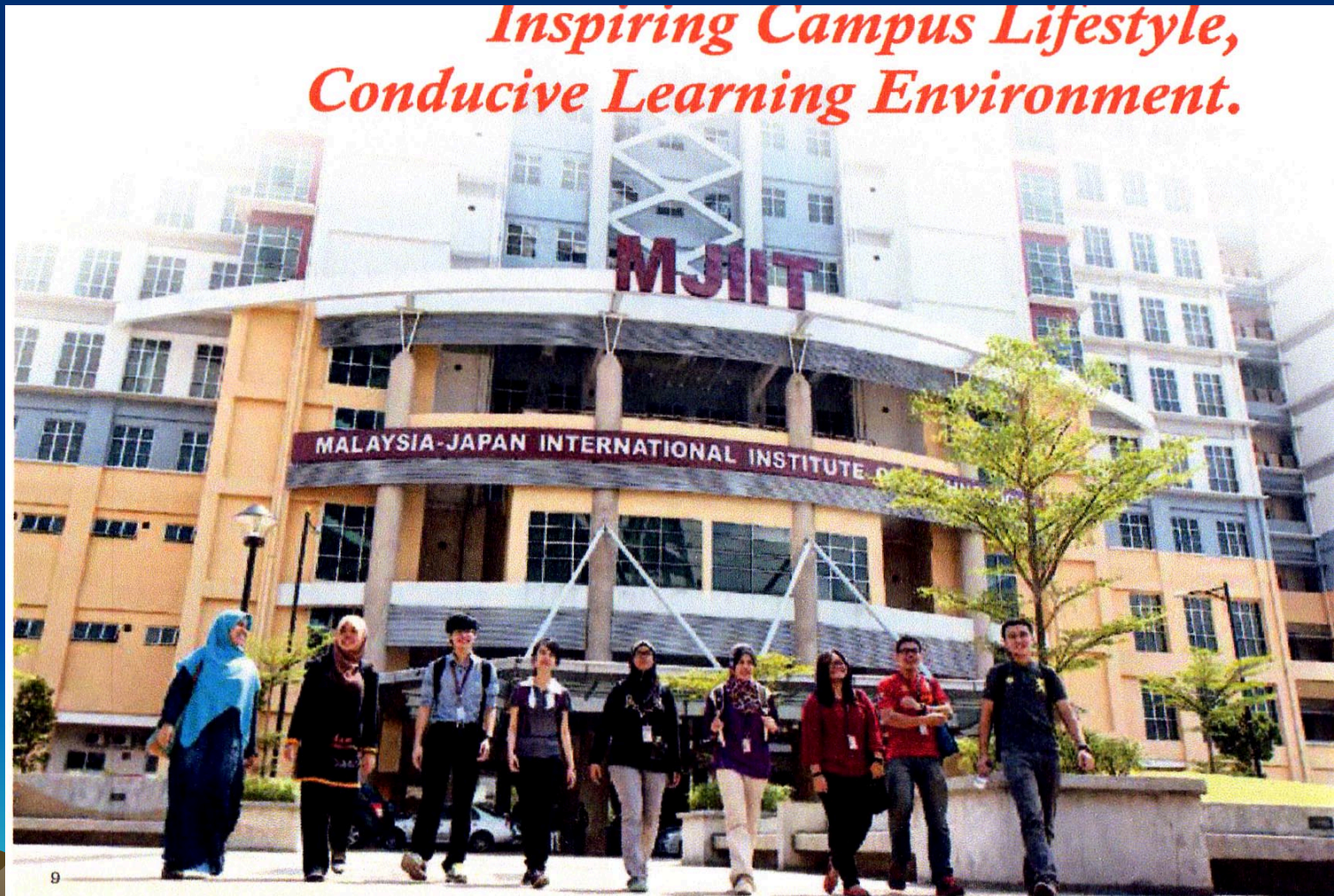
<http://mjiit.utm.my/wp-content/uploads/2015/07/MJIT-Brochure-Japanese.pdf>

<http://mjiit.utm.my/research-wind/>

2012年開学

電子工学・精密機械・化学

*Inspiring Campus Lifestyle,
Conducive Learning Environment.*



エジプト日本科学技術大学

Egypt-Japan University of
Science and Technology



将来計画



画像引用元:

<http://www.jica.go.jp/project/egypt/0604392/news/news/20100204.html>

<http://www.ejust.edu.eg/main/about/future-plan-campus-ug-etc>

トランスナショナル・エデュケーションの課題

- (1) 学位の質保証の問題
- (2) 学位の価値の下落
- (3) 地元の高等教育市場の圧迫
- (4) 高等教育インフラの未整備
- (5) 地元の教育・文化風土との衝突



- 国際通信学位の拡大

オンライン・フェニックス大学

→お茶の間留学の現実化

→しかし、同じ学位、同じ価値の教育

とみなされるかは疑問・・・



留学概念の転換

新しい留学の定義(杉本)とは

学習者の**出身国**、学位授与機関の**所在国**、学位プログラムの提供機関の**所在国**の3者すべてが同一である場合以外のすべての教育パターンを言う

新たな疑問

マレーシアのモナシュ大学分校に留学
している中国からの留学生はどの国に
留学したことになるのか？



ありがとうございました

杉本 均

2014
東信堂

トランスナショナル
高等教育の国際比較

留学概念の転換



留学概念の転換

トランスナショナル
高等教育の国際比較

杉本 均 編著

杉本
均
編著

東信堂

大学の「輸出入」・提携の世界的展開の全容と問題点

自国の大学が他国内の分校や提携機関により他国内学生を教育し学位を授与する——自国大学は教育・学位の「輸出」、他国内学生は「留学しない留学」としての費用を軽減する等、トランスナショナル高等教育は両者共に利益が期待できる新留学形態として、今や劇的な世界化を遂げている。本書は、留学概念のパラダイム転換として提供国、受容国双方の展開の全容を全世界的に明らかにし、効用・課題と問題点を考察した労作、近未来の日本の高等教育政策の世界展開を考える上で必読の文献である。

東信堂